

令和4年度病害虫発生予報第5号（8月予報）

【概要版】

令和4年7月27日
青森県病害虫防除所

【概要】

- 水 稲：斑点米カメムシ類は多い、フタオビコヤガはやや多い、紋枯病、コバネイナゴ、ウンカ類、コブノメイガは平年並、穂いもちは少ないと予想される。
- 大 豆：ウコンノメイガはやや多い、べと病、マメシクイガは平年並、紫斑病はやや少ない、ハスモンヨトウは少ないと予想される。
- りんご：斑点落葉病は津軽地域で平年並、県南地域でやや少ない、モモシクイガは平年並、リンゴコカクモンハマキ、クワコナカイガラムシはやや少ない、リンゴハダニは津軽地域でやや多く、県南地域で平年並、ナミハダニはやや多いと予想される。
- 特産果樹：ぶどうの晩腐病は津軽地域で平年並、県南地域でやや多い、べと病は平年並、褐斑病はやや多いと予想される。
もものせん孔細菌病は津軽地域でやや少ない、県南地域でやや多いと予想される。
- 野 菜：アブラナ科野菜のコナガ、ヨトウガ、アブラムシ類はやや少ないと予想される。
ねぎのべと病は少ない、さび病は津軽地域でやや多く、県南地域で少ない、斑点性病害はやや多い、ネギコガ、ネギハモグリバエ、ネギアザミウマはやや少ないと予想される。
ながいもの葉洗病、炭疽病、アブラムシ類はやや少ない、ナガイモコガはやや多いと予想される。
野菜共通のオオタバコガはやや多いと予想される。

《農薬使用基準の厳守》

農薬を使用する場合は、それぞれの農薬に定められている適用作物、使用回数、使用時期、使用濃度を厳守する。使用回数については、含まれる成分によってその回数が制限されるので、同一成分が含まれる剤の総使用回数を守る。

また、使用者の責任として最新の「農薬登録情報」を確認する。

◎ 農林水産省ホームページ「農薬登録情報提供システム」

[URL] <https://pesticide.maff.go.jp/>

◎ (独) 農林水産消費安全技術センター「農薬登録情報・速報」

[URL] <http://www.acis.famic.go.jp/searchF/index/index.html>

予察情報は、アップルネット（青森県農業情報サービスネットワーク）にも掲載しています。 [URL] <https://www.applenet.jp>

病害虫に関するお問合せ先

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森県青森市第二問屋町4-11-6
TEL : 017-729-1717 FAX : 017-729-1900
E-mail : byogaichu@pref.aomori.lg.jp